

JOSEI KANAGAWA

浄青神奈川



大本山光明寺法主柴田哲彦台下御染筆



23期会長挨拶	2
横井教区長・富田教化団長挨拶	3
ねんぶつ日記、定想会報告、他	4
神浄青各組会長紹介	6
スポーツ大会、てらつと報告、他	8
平成28年度事業報告	10
卒業会員挨拶・新入紹介	11
平成29年度事業計画	12

第23期テーマ

いっしょじょうそう

「一処定想」

～変わらぬ為に変わる～

第21代会長 小俣 慶樹

いっしょにしようそう

「一処定想」

「変わらぬ為に変えること」



第二十三期
浄土宗神奈川教区青年会
第二十一代会長
小俣 慶樹

南無阿弥陀仏

第二十三期浄土宗神奈川教区青年会会長に就任させて頂き二年目を迎えることとなりました。これも偏に教区、本山、ご歴代会長、正会員並びに関係団体各位のお力添えの賜物と感謝申し上げます。平成二十八年度は九十四名の正会員と共に事業を行い、今期活動テーマとして掲げている『一処定想く変わらぬ為に変えること』のもと、「定想会」「各組担当別時念仏会」「ねんぶつ日記・作製及び販売」と三つの事業を主に行って参りました。また、関東ブロックスポーツ交流大会を神浄青が担当させて頂く良縁にも恵まれ、遠近各地より約二〇〇名のご参加のなか開催させて頂きました。大会運営を通じて会員同志の結束と、多くの学びが得られたことを大変有難く思います。今期事業である「定想会」では、第一回に総・大本山布教師慶野匡文先生のご講義を頂きま

した。元祖様のみ教えを正しく受け取ることが当たり前のようでも出来ておらず、間違いに気付いていない自身の現状を再確認し、正しい軌道に乗せて頂けた講義でした。第二回では東日本大震災七回忌法要として、実際に仙台荒浜の被災寺院に伺い、仮設の本堂で念仏回向をさせて頂きました。被災寺院のご住職から当時のお話を聞き、六年経つても人々の心の傷が癒されていない現状も知り、まさに「無常」とはこのことだと思ひ知らされました。第三回は大正大学准教授曾根宣雄先生からご講義を頂きました。信機に焦点をあて、凡夫の自覚が何よりの前提であり、悲しみや辛さは容易く乗り越えられるものではないこと、皆折り合いをつけながら生きていくこと、人は強いものではないことをお話し頂きました。そして、なぜ阿弥陀様が念仏を選択されたか、そこから元祖様の真意を知り、一層阿弥陀様の大慈悲を有難く尊く感じました。

「各組担当別時念仏会」では、各担当組それぞれ研修を企画して頂き、別時念仏と共に組の特色が出た大変充実した研修も行うことができました。

『ねんぶつ日記』の作製に際しては、編集委員会を中心に約一年の歳月をかけて参りました。完成してからは多くの方からお求め頂き、これがひとつの念仏結縁並びに念仏相続の一助となることを懇願しております。人は何がきっかけで変わるかわかりません。大切な方を失った方、心の支えを一人求めている方、その方々の『ねんぶつ日記』が気付きの糸口になれたらどんなに嬉しいことかと思ひます。作製にあたり担

当者一同、自分の視点でなく相手の視点で物事を見ること、伝えることがこんなにも難しいことであると学びました。

そして第四回となる「てらつど」も、好天ではない中でも、約一八〇〇名のご来場を頂き開催できたこと大変有り難く思っております。回を増すごとに、様々な意見や見解がありますが、多くの方に「てらつど」を周知して頂くためにも、今は続けることが大切であり、その中で初めて見えるもの、はじめて気付けるものがあると確信しております。青年僧とのお話コーナーに見えらる方でも、お一人お一人の心の想いを我々は大切にし、語りかけて頂いたときにはその方のお気持ちに少しでも寄り添うと努めることが相手に伝わり、それだけで相手の気持ちが温かくなることも知りました。これからの時代を担う青年僧として大切なことであります。

当会運営に際しては、年々会員数が減少しておりますが、今の状況を常に好機と捉えることが何より大切であり、今の会員だからこそ出来る事、また今だからこそやらねばならないこともあります。平成二十九年度は九十五名の正会員と共にこの想いを持ち続け、自行・化他・和合の理念のもと、『一処定想く変わらぬ為に変えること』を指針とし、今年度も「定想会」「各組担当別時念仏会」「てらつど」等、諸々の事業を行って参ります。会員一人一人が、今期を通して一層の願往生心を抱いて頂けることを願い、皆共に学び合えるよう宜しくお願い申し上げます。

合 掌



『神浄青の皆様に期待する』

神奈川教区教区長 横井隆彦 上人

新しい年度が始まっています。新入の会員諸氏も慣れてきたところでしょうか。皆様には、常日頃当教区の諸事業に大変なご尽力を頂いています。紙上をお借りして御礼申し上げます。

貴会の事業を主と従に分けてみる事ができるでしょう。主たる活動は、若い行動力と何より思考の柔軟さで独自の展開がみられることです。

まず、「てらつど」が挙げられます。多くの人々が大本山光明寺に集います。私たちはよく、費用対効果を口にしますが、いっどこでその人のためになるかは付度しないほうが粹というものです。あの日光明寺でこんなことがあった、例えば、若いお坊さんとお話したという思い出が作られたなら素晴らしいことだと思えます。

新たに作成の『ねんぶつ日記』も面白い発想と感じます。完成の冊子を小俣慶樹会長から受取り、予想以上の出

来栄えに心躍りました。なんだろうと開けてみると太字で「ねんぶつ日記って何ですか？」と疑問を持つだろうと想定してそれに答えています。簡明瞭な文体と見やすい割付けで『仏説無量寿経四誓偈』へと進みます。実に滑らかに一念仏申すことへ誘っているではありませんか。この素晴らしい冊子は、全国に広めたいと今年五月の全国教区長教化団長会議の会場で展示いたしました。大きな反響が期待されます。従の活動は、発想もさることながら行動力に特徴があります。昨年度の総合学術大会での「てらつど」の事例発表も見事に行われました。所属組での諸役を担う姿など頭が下がります。これからは少子高齢化社会、二〇六〇年には、二・五人に一人が六五歳以上となると見込まれています。会員の皆様、浄青で培った豊かな発想で市井の人々を導いて下さることを期待しています。



『ご挨拶』

神奈川教区教化団長 冨田浩雅 上人

この度、前団長・北邨賢雄上人の後を受け、教化団長を務めさせて頂くことになりました。鎌倉組西念寺冨田浩雅と申します。もとより浅学非才でその器ではありませんが、神奈川教区発展のために一生懸命努力してまいり所存です。どうか浄土宗神奈川教区青年会会員の皆様、教区諸大徳ならびに関係各位には特段のご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、法然上人は、一念仏申しておれば、自然にいつのまにか三心はそなわるとお示しくださっています。一念仏を続けていれば、いつのまにか信心はそなわっているということです。このことをある人が、「念仏していれば、い

つか必ず手応えが感じられるようになる」と解釈してくださいました。まことにその通りだと思います。

是非とも、浄土宗神奈川教区青年会会員の皆様には、今まで以上に活動を活性化し、自己研鑽していただくと共に、特に念仏を中心とした、児童教化・檀信徒教化並びに社会貢献に重きを置き、より一層の活動ご活躍をお願い致したいと存じます。

第33回関ブロ浄青スポーツ交流大会 報告

大会実行委員長 三浦 康志

去る平成 28 年 11 月 28 日、第 33 回関ブロ浄青スポーツ交流大会を神浄青担当で、神奈川県立保土ヶ谷公園内サーティフォー保土ヶ谷球場・軟式野球場・少年野球場にてソフトボールを行い、懇親会はローズホテル横浜を会場に開催させていただきました。関ブロ各教区より約 200 名の参加をいただき、皆様のご協力により無事大会を終えることができました。

振り返りますと、平成 27 年 8 月 31 日に第 1 回委員会兼顔合わせ会を行い、以降は 20 名の委員で設営（晴）・設営（雨）・懇親・事務局・会計・記録に分かれて準備を進め、全体での委員会は計 7 回開催しました。大会直前の平成 28 年 11 月 7 日には保土ヶ谷公園での全体説明会、11 月 9 日には横浜での決起集会を開催し多くの神浄青会員が集まり大会に向けて結束することができました。委員をはじめ神浄青会員の皆様には忙しい中、時間を割いていただき本当にありがとうございました。

前日深夜まで雨が降っていたため、大会当日早朝のグラウンド状態は悪かったのですが、神浄青会員全員でグラウンドを整備し、無事に開会式を迎えることができました。日中の天候には恵まれ、参加者に大きな怪我も無く、競技を通して各教区との交流を深めることができました。9 教区 12 チームの中で、優勝は埼玉浄青、準優勝は千葉浄青、3 位は東京浄青 A チームという結果となりました。

懇親会には、神浄青第 2 代会長でもある大本山光明寺御法主柴田哲彦台下をはじめ、神奈川教区諸役の諸上人、関ブロ浄青歴代理事長、神浄青歴代会長並びに卒業会員の諸先輩方の御臨席を賜り、横浜中華街の地で和やかに懇親を図ることができましたこと、大変うれしく思っております。

改めて、大会開催にあたり、関係諸大徳には多大なるご支援ご協力を賜りましたこと、心より感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



『ねんぶつ日記』

檀信徒の方々により一層念仏に励んでいただければ、という思いでスタートした今期事業ある『ねんぶつ日記』。編集委員会と各組からの推薦メンバーによって何度も編集会議を開催し、さまざまな意見を交わし合い、漸く発行に至ることができました。多くの御寺院様、そして檀信徒の皆様方に念仏相続の一助として活用いただければ幸いです。ご注文は右の QR コードまたは下記までご連絡ください。
nenbutu.nikki@gmail.com



A6版16ページ。毎日の念仏を唱える目標に沿って「四誓偈」を写経していく。

第1回 各組担当別時念仏会 (参加者35名)

平成28年9月7日(水) 大本山光明寺を会処に中郡組・小田原組担当で別時念仏会と中郡組・江島尚俊上人、進行のもとテーマ「寺院へ抱くあなたの不安」をグループごと発表していくグループワークを行いました。普段、気になること・不安なことを仲間同士で語り合う大変有意義な時間となりました。



第2回 各組担当別時念仏会 (参加者34名)

平成29年3月10日(金) 大本山光明寺を会処に鎌倉組・三浦組担当で別時念仏会と中尾はるか先生によるヨガ教室が開催されました。日頃、運動不足な私達にとりまして大変貴重な時間となりました。



第1回 定想会 講師 慶野匡文上人 講題 五重相伝を学ぶ

平成28年6月14日(火) 大本山光明寺を会処に会員43名(OB 含む)参加。五重相伝について学ぶことにより教えを正しく受けとり、伝えることの大切さを学ぶ機会となりました。



第2回 定想会

平成28年9月1日(木) 宮城県仙台市、浄土寺様におきまして震災の慰霊法要、被災地見学(荒浜小学校等)、また浄土寺ご住職様からの当時の状況、今日の状況等のお話を聞かせて戴きました。参加された皆様におかれましては自身を今一度顧みることで一層の阿弥陀仏大慈悲の有難さを感じて戴けた事と存じます。



第3回 定想会 講師 曾根宣雄上人 講題 浄土宗が提示すべきもの -人間観を中心に-

平成29年2月23日(木) 大本山光明寺を会処に会員40名(OB 含む)参加。凡夫の自覚・信機等についての講義を戴き、一層の願往生心の想いを深める事を目的として開催されました。



各組紹介



京浜組

会長
大熊 隆史

いつも楽しく参加させていただき厚く御礼申し上げます。

当会は前年度に古屋道正会員が卒業され、当期計4名が門出を迎えられました。今年度は陣川、白石、林田3名が新たに会員となりました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

活動について

《前年度報告》
1. 講習「臨終行儀」(講師 佐々木敬易上人)
社会の変化に於ける人生観の変化。葬送の歴

史、風俗的観点から葬送本来の在り方を研究した。

2. 講習「成年後見制度」(講師 岩本倫氏)
「無縁社会」が生む弊害に問題提起。地域制度を学び、起こりうる問題への対処を研究した。

3. 個別課題「寺に歴史あり」(3ヶ寺紹介)。
寺と地域の歴史を調査及び発表、歴史を知る

ことにより寺門興隆の研究材料とした。

(写真)

《今年度計画》

1. 各組担当別時會・港北京浜組合同開催
2. 自坊紹介(未発表寺院)



「寺に歴史あり」 第一回目 自坊紹介 成佛寺門前

港南組

会長
石川 仁恵

港南組常任理事・薬王寺の石川仁恵です。早いもので、残すところの任期も1年を残すところになってまいりました。

港南組の事業と致しましては、継続事業といしましては、大本山光明寺御法主柴田哲彦台下から御教授いただいている、布教研修会、勸修御伝「聖典輪読会」が本年度で終了する目途が立ち、気持ちも高まっております。

また、塩澤智彦先生をお招きして、高座組浄青との合同法式研修会を年に2度開催し、鎌

倉組浄青との合同法式研修会ならびに忘年会を行ないます。

今期の新規事業としては、研修旅行として国内の他宗寺院参拝の旅行を計画しております。ご興味のある方はお気軽にご参加いただければと思います。

前年度は「神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会」を担当させていただきました。残念ながら天候に恵まれず競技変更となり、ボウリング大会となりましたが、多くの会員の皆様の初め、OB会員の諸大徳のご参加を頂き、日頃の運動不足の解消と懇親を深めることが出来ました。最後に本年度は、各組担当別時念仏会も高座組と合同で行ないます。残りの任期1年を精一杯努めてまいります。何卒よろしくお願い致します。

港北組

会長
安田 雄心

いつもお世話になっております、港北組青年会会長を務めさせていただいております、心行寺安田雄心です。どうぞよろしくお願い致します。

前年度、港北組青年会は年四回の定例研修会を開催いたしました。講師には大正大学准教授・小田原組春光院副住職石川琢道上人をお迎えし、「中国浄土教の思想」をテーマに「浄土五祖」について研修を行いました。

今年度は、同じく年四回の定例研修会を開催予定です。講師には、大本山光明寺前法務部長・三浦組光照寺住職三浦正英上人をお迎えし、「光明寺の引声」あるいは「詠唱」をテーマに研修を深めます。また、前年度講師をお勧めい

ただいた石川琢道上人のご縁により、小田原組浄青さまとの合同によります研修旅行(京都方面)を計画しております。

また、神浄青の事業としては各組担当別時念仏会を京浜組さまと担当させていただき、神浄青会員の皆様には奮ってご参加いただきたくお願いいたします。

現在、港北組青年会は会員数の減少によつて少数精鋭で日々活動していますが、当組の研修会にご興味のある会員の方がいらつしやいます。たら、ご参加を心よりお待ちしております。



高座組

会長
三浦 康志

昨年新たに賛助会員制度が始まり、賛助会員と共に活動を行いました。昨年度は、港南組と合同での塩澤智彦先生による法式勉強会を二回、海老名で雨の中パーベキューをした家族親睦会、他組からの参加もいただき青森へ出向いた法式講習会並びに検定試験、岡崎の大樹寺・荒井山等への研修旅行を行いました。

以上の事業は引き続き今年度も行う予定です。家族親睦会は雨の心配が無いようにお店で食事会、法式講習会並びに検定試験は十二月に仙台で、研修旅行は十一月に熊本方面を予定しております。

また昨年十二月には、何度かの勉強会を経て

「六字礼讃を無事勤めることができました。今年は三部経輪読をいたします。

信法寺 大谷慈通会員が昨年度をもって神浄青を卒業してしまいましたが、高座組浄青では監査として現役最後の1年となります。そして今年は神浄青スポーツ交流大会の開催組が8年ぶりに高座組にまわってまいります。しっかりと準備して、大会の運営に臨みたいと思います。

今年も引き続き、会員同士での勉強会や各事業を通して更なる親睦を深め、研鑽していきたく思っております。皆様にお知らせする事業もあると思いますので、どうぞご参加のほどよろしくお願いいたします。





鎌倉組



会長
稲見 公宏

昨年度に引き続きまして、鎌倉組浄青の会長を務めさせて頂きます。覚來寺の稲見公宏です。よろしくお願いたします。

鎌倉組浄青は、昨年度をもって聖徳寺の伊藤浩信会員が卒業され今年度から十三名となりました。とても寂しい事ではありますが、会員一同力を尽くしてまいりたいと思っております。昨年度の事業の報告といたしましては、新しい試みとして、三浦組浄青と合同による親睦旅行で熱海に行っていました。また、様々な事業におきまして多くの現役会員・OBが参加して下さったことも、この場をお借りし、ご報告さ

せて頂きます。そして今年度の事業といたしましては、光明寺柴田哲彦台下にご講義を頂いております。港南組浄青と合同による經典講読研修会「勅修御伝」を柱に、同じく港南組浄青と合同による法式研修会、年末には三浦組浄青と合同での歳末助け合い托鉢、そして時期は未定ですが三浦組浄青と合同で一泊の研修旅行を予定いたしております。

また、今年度の4月に鈴木顯祥会員が傳福寺御本尊前におきまして結婚式を挙げられました。皆様へのご報告とともに、心よりお祝い申し上げます。

鎌倉組浄青会員一同、一丸となつて精進してまいりますので、今年度も何卒よろしくお願いたします。



中郡組



会長
伊藤 圭祐

お世話になつております。中郡組青年会会長の伊藤圭祐です。

昨年度は小俣会長期新事業の各組担当別時念佛会、この記念すべき第一回目を小田原組様と共に務めさせて頂きました。中郡浄青は研修会を担当させて頂いた「寺院へ抱くあなたの不安」をテーマに、グループ事に発表していただきました。講師の話をお聴きだけの研修会ではなく全員参加型の研修会とし、グループに分かれ意見を出し合い発表をしてもらいました。またグループ分けも普段あまり接点の少なそうな方どうしをなるべく組み合わせ、新たな交流の場になればと思ひ、工夫をしてみました。新規事業の第一回目、何としても成功しなければ

ならない中、無事勤め上げられ第二回目へとつなぐ事ができほつとしております。昨年度の心残りは、台風の為家族親睦会が中止など、県の事業には積極的に参加できたものの中郡浄青としての活動が少なかつた為、会員の皆様には申し訳ない一年となつてしまいました。

二十九年度の中郡組青年会は大信寺・宮本阿弥会員、清岩寺・千葉妙華会員の二名が入会し、総勢十三名での活動となります。前年に引き続き江島会員による勉強会、また法式の基本を見直す勉強会、別時念佛会、家族親睦会、国内研修旅行等を計画しております。年々会員数が減つておりますが、県浄青への参加を促し、積極的に活動していきたいと思ひます。



三浦組



会長
松江 弘信

今期も引き続き三浦組青年会会長を務めさせて頂きます。松江弘信です。

三浦組は昨年度をもって真光院 須田応紀会員が卒業されました。今年度は正行院の菊地彰久会員、菊地恭史会員が兄弟で入会していただき、九名での活動して参ります。

昨年度の事業報告としては、法式を基礎から確認をしていく法式勉強会を七月と二月に開催しました。また、継続事業である鎌倉組青年会と合同の歳末助け合い托鉢、家族親睦を兼ねた暑気払い会を致しました。三月に開催されまし

た神浄青の事業「てらつと」では、副委員長の大任を小松崎、土川両会員が務め、当日には三浦組全会員が参加しバックアップが出来ました。

今期の事業予定としては、昨年度からの法式勉強会を継続して開催する予定でおります。そして、隔年で実施しております研修旅行を鎌倉組青年会と合同で行う予定でおります。行き先、日時など決定致しましたら神浄青の皆様にもお知らせいたしますので、ご参加頂けたら幸いです。

少人数の三浦組ではありますが、県浄青の事業等にも積極的に参加してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



小田原組



会長
阿川 貫浄

南無阿弥陀佛

大場前会長よりバトンを受けて、早や一年が経過致しました。小田原浄青の事業は、会社勤めの会員もいる為、出来るだけ多くの会員が参加出来るように、日曜日に行うようにしてまいります。

今年度は、自己流になりがちな法式と詠唱について再確認する為に、法式研修会を二回、詠唱研修会を一回行います。法式研修会は、高座組三浦康志上人に、詠唱研修会は、三浦組三浦正英上人に、ご指導を頂きます。また、昨年度、港

北組浄青の勉強会で、当会会員石川琢道上人が講師をされたご縁で、今年度末には港北組浄青と京都方面へ合同研修旅行を行います。年末には、恒例となつております小田原駅頭での歳末助け合い托鉢を行います。又、布教研修会などの組事業にも積極的に参加することを心掛けてまいります。

小田原組からは、神浄青会長はじめ執行部に五名出ているので、神浄青への協力ももとより、小田原浄青十三名、一丸となつて今後に繋がる実りある活動を行って参りたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

末尾になりましたが、私も浄青会員が大変お世話になりました。小田原組無量寺小島伸方上人が本年二月十四日にご遷化されました。ここに衷心よりお悔やみ申し上げます。

第34回 教区長杯争奪スポーツ大会

大会実行委員長 石川 仁恵

浄土宗神奈川教区青年会主催による第34回教区長杯争奪スポーツ大会(港南組浄青担当)は、残念ながら当初の予定のソフトボールは前日の大雨の影響でグラウンドを使用できず、江の島ボウルでのボウリングに競技を変更し開催されました。しかしながら、久しぶりのボウリングを参加者みんなで、楽しんでプレーしていただきました。結果は、三浦組の優勝にて無事に終了いたしました。

そして、歴代会長・浄青OB諸大徳各位にもご臨席を頂き、懇親会は戸塚・崎陽軒にて開催し、和やか且つ有意義に懇親を深められました。

担当組の港南組浄青としては、四月の第1回理事会までに、数パターンの球場を選定すると共に、懇親会場、また雨天時のボウリング会場との折衝を行い、資料等は前年度までのものを参考にしながら、作成させて頂き準備しました。

天候には恵まれず、ボウリングとなってしまいましたが、各組会員のご協力も得られ無事に担当組の責務を果たすことが出来ました。

これも偏に関係諸大徳各位のお導きの賜物と存じます。本当に良い大会になったことを感謝すると共に今後ともよろしくお願いいたします。



寺集〜てらつど〜

平成29年3月25日、第4回目となる「てらつど」が大本山光明寺にて開催されました。石川基樹委員長のもと実行委員会では様々な企画が練られ当日を迎えました。例年と同じく光明寺観桜会との併催でしたが、残念ながら昨年同様、桜の開花より少し早く蕾膨らむ中での開催となりました。当日は天気に恵まれ、約1800名と大変多くの皆さまにご来場いただき、にぎにぎしく行うことが出来ました。



光明寺開山忌前および十夜前清掃奉仕

平成28年7月1日および10月6日、それぞれ開山忌と十夜前の清掃奉仕を行いました。時節柄、雑草が生い茂り、また落ち葉も多くありましたが、境内から御廟までの通路や山門、また天照山駐車場の清掃を行い、お昼には寺庭婦人会の方々が

作ってくださったカレーを全員で頂きました。多くの会員の参加をいただいたことで、しっかりとした清掃奉仕を行うことができ、身を引き締めて開山忌・十夜を迎えることができました。



平成29年度 定期総会

去る4月20日(木)大本山光明寺書院において、平成29年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会が開催され、28年度事業報告、決算報告ならびに29年度事業予定、予算案が承認されました。

昨年度をもって6名の先輩が浄青を卒業され、本年度より8名の新入会員が入会され、総会において小俣会長より記念品が手渡されました。本年度は95名の会員で神浄青の活動を行ってまいります。



御忌別時會

法然上人の御忌を翌日に控えた平成29年1月24日、会員30名ほどの参加の中、別時念仏会を勤めました。

今年一番の寒さの中ではありましたが、大本山光明寺大殿にて声高らかに念仏、礼拝をいたしました。

法然上人のご遺徳への感謝と共に、昨年の御忌別時より当日にいたるまでに御遷化された神浄青OB諸上人のご回向をさせていただきました。



光明寺十夜托鉢

平成28年10月14日、大本山光明寺にて十夜法要が執り行われる中、本堂大殿前及び山門前にて托鉢を行いました。

初めに九品寺から導師や式衆、詠唱講の方々と共にお練り行列にて光明寺に向かい、その後二手に分かれてお念仏をお称えしながら托鉢を行いました。

参拝に来た多くの方からお布施を頂戴し、たいへん実りある托鉢となりました。



浄土宗神奈川教区青年会 平成28年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	11日(月・先勝)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	12日(火・友引)	関ブロ別時念仏会・関ブロ最終理事会	増上寺
4月	18日(月・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	24日(火・先負)	※神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
6月	7日(火・先勝)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	ローズホテル横浜
6月	14日(火・友引)	第1回定例会 【五重相伝を学ぶ①】	大本山光明寺
6月	20日(月・友引)	第43回関ブロ浄青総会 並 研修会 担当 山梨教区	山梨 甲府富士屋ホテル
7月	1日(金・先勝)	機関紙「浄青神奈川」第42号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	1日(金・先勝)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	25日(月)～27日(水)	※関東教化センター第68回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	31日(水・大安)	全浄第12回全国大会 担当:宮城教区	仙台 江陽グランドホテル
9月	1日(木・友引)	第2回定例会 【東北追悼法要】	仙台 浄土寺
9月	7日(水・友引)	第4回理事会/各組担当別時念仏会	大本山光明寺
9月	13日(火・友引)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:港南組	江の島ボウル・崎陽軒
10月	6日(木・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(金・仏滅)	十夜托鉢	大本山光明寺
11月	30日(水・赤口)	全浄別時念仏会	知恩院
11月	28日(月・友引)	関ブロスポーツ交流大会 担当:神奈川教区	34保土ヶ谷球場・ローズホテル横浜
12月	7日(水・先勝)	第6回理事会・忘年会	新横浜国際ホテル
1月	24日(火・友引)	第7回理事会・御忌別時念仏会	大本山光明寺
2月	22日(水・友引)	第3回定例会 【五重相伝を学ぶ②】	大本山光明寺
3月	9日(木・先勝)	全浄第42回 総合研修会	増上寺
3月	10日(金・友引)	第8回理事会/各組担当別時念仏会	大本山光明寺
3月	25日(土・大安)	寺集～てらつど～	大本山光明寺



新旧役員歓送迎会 平成28年6月7日(火)ローズホテル横浜
22期伊藤会長より23期小俣会長にバトンが手渡されました。



第68回 夏季僧堂 平成28年7月25日(月)～27日(水)
神奈川教区主催。天気も良く子どもたちと共に楽しい二泊三日を過ごしました。

災害救援募金報告

京浜組	59,752 円
港北組	129,870 円
港南組	94,324 円
高座組	67,431 円
鎌倉組	121,866 円
三浦組	40,000 円
中郡組	38,000 円
小田原組	80,644 円
各組合計金額	631,887 円

以上、各組より浄財をお預かり致しました。
皆様のご協力賜り感謝御礼申し上げます。

卒業会員挨拶



京浜組
古屋 道正

気が付けばもう卒業を迎えることになりました。青年期に「自行・化他・和合」の理念をもとに、僧侶としての意識を深め、実践することができたことは、極めて有意義な時間となりました。そして、かけがえのない同志と出会えたことは一生に渡る宝となりました。14年間ありがとうございました。



港南組 寶心寺
丸地 裕信

会員の皆様が、自分自身の置かれたその場所で精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人となり、実りある活動がなされる事を祈念いたしております。皆様、ありがとうございました。



高座組 信法寺
大谷 慈通

自行・化他・和合の理念を基本にする浄青活動に参加できたことは、私の大きな宝です。何よりも三つの理念の集大成である「てらつど」での経験は自信にもつながりました。まだまだ浄青で学びたいこと経験したいことはありますがもう卒業です。皆さんも浄青で仲間と共に多くを学び経験してください。ありがとうございました。



鎌倉組 聖徳寺
伊藤 浩信

佛教とは真逆の価値観と我楽多で覆われてしまった日本と世界。混迷を極める今こそ、いかに佛道に基づいて物事を思考し判断し発言し行動してゆくかが問われることと思います。罪惡生死の凡夫が救われるお念佛のみ教えは普遍性があり近現代人が最も必要とする宗教です。僧侶としての資質向上を意識して日々、ご精進ください。



三浦組 真光寺
須田 応紀

浄青活動の思い出は多々ありますが、強く印象に残っている事は「第2回全国大会委員会」にて、司会をさせて頂いた事です。神奈川の会員200名ほど、全国から250名程。研修会場に席を置ききれないので、神浄青会員は立ち見にての受講でした。全国的に見ても会員数は減少しており、今後このような人数は難しいかもしれませんが、そうであっても、神浄青主催事業は他の地域から見たら、参加したい魅力が参加人数に表れています。ぜひこれからも会長を中心に、他では成し得ない経験を楽しんでください。



中郡組 善徳寺
三荒 雅道

この度浄土宗青年会を卒業することになりました。私は、普段会社勤めのため、なかなか事業活動に参加することが出来ず、皆様にはご迷惑をおかけしましたが、会員として暖かく在籍させていただいたことに感謝しています。神浄青の益々のご発展と、現役会員皆様のご活躍を祈念申し上げます。

新入会員紹介



- ①陣川雄大(じんかわゆうだい)
- ②平成2年11月
- ③未成満
- ④京浜組観音寺
- ⑤RH+O型
- ⑥食べ易い物
- ⑦ジン
- ⑧ジェットスキー・ウェイクボード・野球・スノーボード・車の運転
- ⑨無し



- ①白石祐也(しらいしゅうや)
- ②平成6年9月
- ③平成27年12月
- ④京浜組正行寺
- ⑤A型
- ⑥茄子
- ⑦ゆーや
- ⑧散歩・早起き
- ⑨TOKIO



- ①林田徹順(はやしだてつじゅん)
- ②平成4年9月
- ③平成28年12月
- ④京浜組慶岸寺
- ⑤A型
- ⑥大正大学近くのてんびんのタンタンメン
- ⑦てっちゃん
- ⑧空手
- ⑨波瑠・斎藤工



- ①夏見有実(なつみゆうじつ)
- ②平成4年6月
- ③平成28年12月成満
- ④港北組 宗忠寺
- ⑤A型
- ⑥らーめん
- ⑦なっちゃん
- ⑧観劇
- ⑨瀬戸康史



- ①菊地彰久(きくちしょうきゅう)
- ②平成6年6月
- ③平成27年12月
- ④三浦組正行院
- ⑤A型
- ⑥つけ麺
- ⑦あき
- ⑧ダンス
- ⑨流れ星



- ①菊地恭史(きくちきょうし)
- ②平成6年6月
- ③平成27年12月
- ④三浦組正行院
- ⑤A型
- ⑥焼肉
- ⑦たか
- ⑧音楽鑑賞
- ⑨マツコデラックス



- ①宮本阿弥(みやもとあみ)
- ②昭和53年10月
- ③平成25年12月
- ④中郡組大信寺
- ⑤B型
- ⑥なし
- ⑦なし
- ⑧なし
- ⑨木村文乃



- ①千葉妙華(ちばみょうか)
- ②昭和56年10月
- ③平成25年12月
- ④中郡組清岩寺
- ⑤O型
- ⑥たまご・たこ・とり肉
- ⑦すみれちゃん
- ⑧睡眠・映画観賞・スキューバダイビング・サンドブラスト
- ⑨大泉洋

平成29年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	事業内容	場所
4月	14日(金・友引)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	20日(木・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	22日(月・赤口)	※神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
5月	23日(火・先勝)	関プロ別時念仏会	増上寺
5月	29日(月・友引)	第2回理事会	大本山光明寺
6月	16日(金・友引)	第4回定例会	大本山光明寺
6月	21日(水・先勝)	第44回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 栃木教区	宇都宮
7月	1日(土・赤口)	機関紙「浄青神奈川」第43号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	3日(月・友引)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	24日～26日(月～水)	※関東教化センター第69回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	29日(火・友引)	全浄第13回全国大会 担当:東海ブロック 尾張教区	名古屋
9月	15日(金・先勝)	第4回理事会	大本山光明寺
9月	26日(火・友引)	各組担当別時念仏会(港南・高座担当)	大本山光明寺
10月	2日(月・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(金・仏滅)	十夜托鉢	大本山光明寺
10月	25日(水・友引)	第34回関東ブロックスポーツ交流大会	埼玉
11月	6日(月・友引)	第5回定例会	大本山光明寺
11月	22日(水・友引)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:高座組	海老名
11月	29日(水・先負)	全浄別時念仏会	熊本
12月	15日(金・先勝)	第6回理事会・臨時総会・忘年会	神奈川県内
1月	17日(水・赤口)	関プロ別時念仏会	増上寺
1月	24日(水・先勝)	第7回理事会・御忌別時念仏会	大本山光明寺
2月	未定	全浄第43回 総合研修会	未定
2月	上旬	第6回定例会(最終)	海外研修
3月	6日(火・先勝)	第8回理事会/各組担当別時念仏会(京浜・港北担当)	大本山光明寺
3月	31日(土・仏滅)	「寺集～てらつど～」	大本山光明寺

第23期 神浄青 編集委員



三浦 正順



大橋 雄人



坂本 慎成



鳥居 淳生



杉浦 尋得



伊藤 泰成



神浄青ホームページ
www.jodo-kks.com

神浄青 検索



Find us on
Facebook
フェイスブック 始めました

